

京都検定合格者を中心に結成 丹波の魅力を発信

NPO法人「都草」丹波支部発足



発足にあたり、支部活動の説明を行う海道ただかず支部長

京都検定合格者が中心となりボランティア活動で観光文化の振興を行う、NPO法人京都観光文化を考える会「都草」の丹波支部が発足した。京都市伏見区、東京都に次いで3番目の支部で、丹波の歴史を振り返りながらその魅力を全国に発信する活動を展開していく。都草には現在300人ほどの会員が属し、京都市を

中心に観光ガイドや学術研究、京都検定講座などを行っている。亀岡市や南丹市など京都府丹波地域に住む会員が集まり、今年2月から支部結成の準備を進めてきた。

49歳〜70歳の検定合格者や合格を目指す7人で支部を結成。14日に市文化資料館で記念の講演会「丹波」との会員が属し、京都市を

発足式を行った。発足式では、都草理事長の坂本孝志さん(67)と京都市市議会議員の丹波支部長の海道ただかずさん(70)の2人が支部活動の説明を行った。

「ふるさと亀岡ガイドの会」メンバーの出席もあり、連携や協力を深めていきたいとした。

現在丹波支部は、W

第1340号 (毎週土曜日)



発行所
 (株)亀岡市民新聞社
 〒621-0804 亀岡市道分町馬場通19-2
 フォンテール2F
 電話 (0771)24-2338番
 FAX (0771)25-3502番
 E-mail office@kameokanews.co.jp
 http://www.kameokanews.co.jp/

e b サイト (http://miyakogusatanba.npocomei) を通じて丹波の魅力を発信や活動の紹介を行っています。